

ターミナルケアの新たな地平—亡くなるまでにやっておきたい「希望あるケア」
葬送準備ケアインストラクター養成講座 第1期生募集

「体験」と「制作」を通じて終末期を前向きに生きるためのケア技術の講習会
 2015年7月11日(土)・12日(日)の2日連続、東京・秋葉原にて初開催

2015(平成27)年6月1日
 一般社団法人知識環境研究会

一般社団法人知識環境研究会(所在地:東京都千代田区、代表理事:神山資将)は、2015年7月11日(土)と12日(日)の連続2日間、東京・秋葉原にて「葬送準備ケアインストラクター養成講座」を開催します。ターミナルケアの第2ステージとして、体験と制作を通じて、療養者の「こころ」を整えるケア技術の講習会です。「自分らしい葬送」について考え、日々のケアの中で「死ぬまでにやっておきたいこと」に取り組むことにより、療養者とケアする者の双方が死を前向きに受け入れる効果を期待するものです。今回の講座では、「入棺体験」や「葬送グッズの制作」などのアクティビティを指導するインストラクターを短期集中で養成します。

ターミナルケアに関心のある方を対象に、下記要領にて、第1期生となる受講生を募集します。

●開催要領	
講座名	葬送準備ケアインストラクター養成講座
開講日	2015年7/11(土) 10:30~17:00 2015年7/12(日) 9:30~17:00 ※2日間連続・短期集中講座です。
会場	東京都内・JR「秋葉原」駅徒歩4分
受講料	8万円(税込)(2日間)
講師	尾崎文彦、安田かほる、奥山晶子、松本ふみ子 他
内容	現代の葬送における基礎知識/ターミナル期の心理/グリーフサポートの必要性/「自分らしい棺」制作実習/入棺体験会/グリーフケアとエンゼルケア/ターミナル期における対話のロールプレイ/メモリアルボード制作実習/葬儀後のプロセス/葬送準備ケア指導の心得4か条 他
到達目標	葬送準備ケアのインストラクターとして、各種のアクティビティを実践するための知識とスキルを習得する。
対象者	ターミナルケアの指導者を目指す方。医療・介護・福祉などの専門職向けの講座ですが、一般の方も受講可能です。
申込み	下記URLの公式サイトにて受付中です。 http://learning.ackk.org/soso/



写真: 手作りの布カバーを使った入棺体験の様子

本講座は、「共に創るターミナルケア」で多死社会に貢献することを目指す「共創的ターミナルケア」

(Co-creative Terminal Care: CTC) シリーズのひとつとして企画され、今回が初めての開催となります。

受講料には、オリジナルの教材費・制作実習費・資格認定料が含まれます。修了者には指導者資格の認定を行い、病院や施設、地域での実践を継続的にサポートします。

「葬送準備ケア」公式サイト

<http://learning.ackk.org/soso/>

運営組織の概要 一般社団法人知識環境研究会(所在地:東京都千代田区、代表理事:神山資将)は、2000年に発足した、慶應義塾大学と国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学発の研究団体です。大学等と連携した研究のほか、研究成果を医療・介護・福祉分野に応用した「ヒューマンケアサービス科学」の各種講座を運営しています。

本件に関するお問合せ先 一般社団法人知識環境研究会[教育会] 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-11-22
 TEL: 03(3252)2472 FAX: 03(6779)4703 Email: info@ackk.or.jp URL: <http://learning.ackk.org/>